

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	山田 和夫
部の運営方針	「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。 『確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを推進します。』 ○学校教育環境の充実 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境の充実を図ります。 ・布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」を開催し、施設一体型の小中一貫教育を含めた検討を行い、布佐中学校区の児童生徒にとって、最適な教育環境、学校の在り方についてまとめた方向性に基づき事業を進めていきます。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように取り組みます。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。 ○子どもがいきいきと輝く学校づくり ・「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めます。 ・市費で配置している外国語指導助手（ＡＬＴ）、ＩＣＴ教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。 ・Ｑ－Ｕ検査（ＷＥＢＱＵ）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。 ・給食における地産地消の推進をはじめ、食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。 ・学校給食費については、保護者の負担を増大させることなく物価高騰等による食材料費の増額に対応するため、令和５年度に引き続き、増額分を補助します。また、市立小中学校に在籍する第３子以降の児童生徒の学校給食費無償化事業を引き続き実施するとともに、令和５年１月から子育て世帯への経済的負担軽減策として行っている、市立小中学校に在籍する第１子、第２子の児童生徒への学校給食費月額 1,000 円の支援及び、令和５年 10 月から開始している食物アレルギー等により学校給食の提供を受けられず、毎食弁当を持参している児童生徒の保護者に対する支援についても、継続していきます。 ・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。また、ＧＩＧＡスクール構想に基づき整備された一人一台端末を活用し、ＩＣＴ教育を一層推進します。 ・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。 ・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 ・国や千葉県の示す部活動の地域移行については、部活動支援員を配置しながら我孫子市の実情等を十分に把握し、適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携し、体制を整備していきます。 ・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進します。 ・不登校対策を推進するため、教育支援センター（適応指導教室）・校内教育支援センターは一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え支援します。また、校内教育支援センターを中核とした相談・支援体制をさらに充実させます。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。 ○子どもの成長に応じた発達への支援 ・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 ・支援が必要な児童生徒とその保護者に対し、学校、家庭、子ども相談課等の関係機関と一層の連携を図り、支援するため教育相談センターの相談体制の充実に努めます。 ・特別支援教育の充実を図るため、発達障害特性に関する一定の知識・技術を持つ教育支援センターの専門職が専門性を発揮し、学校全体としての専門性が確保できるよう相談・支援体制を充実させます。 ・療育・教育システムの充実と切れ目のない支援など子ども部及び健康福祉部との連携を強化します。

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	佐藤 和文
部の運営方針 に対する総合 評価	教育総務部の運営方針に挙げた目標をおおむね達成することができました。 ○学校教育環境の充実 ・「学校施設個別施設計画」に基づき改修工事を実施し、教育・学習環境の充実を図りました。 ・布佐中学校区学校の在り方については、令和５年度に検討委員会からの提言書を受け、令和６年度に教育委員会内で慎重に検討し、総合教育会議において、義務教育学校を布佐小学校の敷地に建てることなど、大枠について合意形成を図りました。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように取り組みました。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施しました。 ○子どもがいそいそと輝く学校づくり ・主に３年目までの若い教員からの要請に対し、「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の指導を行いました。 ・外国語指導助手（ＡＬＴ）、ＩＣＴ教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員を各校に配置し、より質の高い授業の実施と個別最適な学びの実現に努めました。 ・Ｑ－Ｕ検査（ＷＥＢＱＵ）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、結果に対する分析について研修会を実施するなど、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援しました。 ・我孫子型地産地消推進協議会の協力のもと、学校給食での地産地消推進に努めるとともに、各校で「食に関する指導年間計画」を作成し、学校全体で食育を実施しました。 ・学校給食費については、物価高騰等による食材料費の増額に対応するため、増額分を学校に補助金として交付しました。また、市立小中学校に在籍する第３子以降の児童生徒の学校給食費無償化事業の実施と併せ、第１子、第２子の児童生徒への学校給食費月額 1,000 円の支援及び食物アレルギー等により学校給食の提供を受けられず弁当を持参している児童生徒の保護者に対する支援についても、継続して実施しました。 ・「小中一貫教育」を推進するため、各中学校区で作成したグランドデザインの達成に向けた取組の支援とともに、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援しました。また、ＧＩＧＡスクール構想に基づき整備された一人一台端末を活用し、ＩＣＴ教育の一層の推進を図りました。 ・幼保小連携では、園児たちが希望と期待をもって小学校に入学できるよう、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校が連携し、園児同士、園児と児童が交流する会と「カリキュラム」で連携を深めました。 ・小中一貫カリキュラムにおける「Abi ふるさと」の実施や、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」などを活用し、郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図りました。 ・部活動の地域展開については、部活動支援員を配置しながら部活動顧問との協議を行うことで市の実情等を十分に把握し、適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携を図りました。 ・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進しました。 ・不登校対策を推進するため、教育支援センター・校内教育支援センターは一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え支援しました。また、教育相談センター・教育支援センターを中核とし、校内教育支援センター職員、心の教室兼在宅訪問指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと相談・支援体制の充実を図りました。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みました。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう支援しました。 ○子どもの成長に応じた発達への支援 ・就学支援制度などの活用を推進し、自立への支援を図りました。 ・教育相談センターの相談体制の充実に努め、支援が必要な児童生徒とその保護者に対し、学校、家庭、子ども相談課等の関係機関と一層の連携を図り支援しました。 ・発達障害特性に関する一定の知識・技術を持つ教育相談センターの専門職が専門性を発揮し、指導主事とともに、学校全体としての専門性が確保できるよう相談・支援体制の充実を図りました。 ・子ども部及び健康福祉部との連携強化を図り、療育・教育システムの充実と切れ目のない支援に努めました。

令和 6 年度
課の目標管理書

課 名 : 教育総務部 総務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○第 3 期教育振興基本計画を推進し、進行管理を適切に行います。

○総合教育会議の開催に当たっては、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるよう、秘書広報課と連携して対応します。

○子どもたちが安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、教育・学習環境の充実を図ります。

- ・学校施設個別施設計画を推進し、学校施設の長寿命化改修等を計画的に実施するとともに、令和 7 年度以降の計画について見直しを行います。
- ・老朽化等による学校施設の不具合や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応し、適正な教育環境の維持に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

○第 3 期教育振興基本計画を推進し、進行管理を適切に行いました。

○総合教育会議については、秘書広報課と連携し、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるように対応することができました。

○「学校施設個別施設計画」に基づき改修工事を実施し、教育・学習環境の充実を図りました。老朽化が進む学校施設について、事後保全ではなく、より一層計画的な維持管理が実現できるよう、また、建築以来外壁改修を実施していない建物の外壁調査の結果を反映させつつ「学校施設個別施設計画」の見直しを進めました。

○老朽化等による学校施設の不具合や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所を迅速に対応しました。

○近隣建物火災の影響により焼損した湖北小学校屋内運動場については、周辺住民の安全確保のために直ちにシートやネットで建物を覆い、飛散防止対策を行いました。さらに、再建に向けて、解体工事及び建設工事設計業務を進めました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

学校施設の長寿命化改修等により、大規模及び中規模な工事が今後も続くことから人員の配置等を行う必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校施設の維持管理	
	担当部署名	教育総務部 総務課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	小中学校施設の点検を実施し適切に管理するとともに、老朽化が進む学校施設の改修や改築を計画的に行うことで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の充実を図っていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	小中学校施設維持管理（湖北台西小、並木小、第二小、我孫子中、布佐中、久寺家中）	
	指	湖北小学校屋内運動場再建事業	
	指	布佐南小学校屋内運動場屋根、外壁等改修事業	
		布佐小学校のり面対策工事に伴う家屋事後調査業務（布佐小）	
		我孫子市立小中学校外壁調査業務（小中学校）	
		屋内運動場飛散防止ネット設置業務（湖北小）	
継続費設定事業	湖北小屋内運動場解体工事 R6～R7年度 予算額 57,399千円、湖北小屋内運動場建設工事設計業務委託 R6～R7年度 予算額 34,466千円		
債務負担行為設定事業	小中学校空調設備貸借 H28～R8年度 1,500,000千円、中学校空調設備保守点検業務委託 R5～R10年度 22,188千円、湖北台西小屋上防水、外壁等改修工事 R5～R6年度 205,810千円、並木小屋上防水、外壁等改修工事 R5～R6年度 278,190千円、我孫子第二小給食室排気フード更新工事 R5～R6年度 25,850千円、我孫子中給食室上防水及び給排気ダクト更新工事 R5～R6年度 35,024千円、布佐南小屋内運動場屋根及び外壁、電灯設備改修工事設計業務委託 R6～R7年度 5,831千円、久寺家中屋上防水、外壁等改修工事 R6～R7年度 220,400千円、久寺家中給食棟換気設備改修工事 R6～R7年度 33,154千円、久寺家中屋内消火栓設備改修工事 R6～R7年度 36,674千円、久寺家中防災電気設備更新工事 R6～R7年度 42,196千円、湖北台中第2校舎屋上防水、外壁等改修工事設計業務委託 R6～R7年度 4,947千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	323,646	108,875	令和4年度（年度末時点）	1.85 0.00
令和5年度	決算見込額	469,297	112,988	令和5年度（年度末時点）	1.85 0.00
令和6年度	当初予算額	825,397	0	令和6年度	4月1日時点 1.85 0.00 年度末時点 2.40 0.00
	補正後予算額	1,093,765	0		
	決算額	782,029	0		
	次年度へ繰越	235,873	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	改修工事・修繕等維持管理校数	校	目標値		19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19			
成果 指標	大規模改修工事等完了校数	校	目標値			1	2	1	1	
			実績値			1	2			
成果 指標	便所等改修工事完了校数	校	目標値			1			1	
			実績値			1				
成果 指標	小中規模改修工事完了工数	校	目標値				3	1	1	
			実績値				3			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各事業とも予定どおり実施することができた。一部の事業（湖北小屋内運動場解体工事、湖北小屋内運動場建築工事設計業務委託、久寺家中屋上防水、外壁等改修工事）は年度内に完了しないため、令和7年度へ継続、又は繰越した。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	各学校において施設の老朽化が進行しており、引き続き我孫子市学校施設個別施設計画に基づき改修工事を実施するとともに、修繕等を適切に実施することで学校施設の適正な維持管理に取り組んでいく。

令和6年度
課の目標管理書

課 名：教育総務部 学校教育課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・健康診断の実施と健康相談、歯科指導、感染症の予防等を通じて児童生徒及び教職員の健康保持と学校保健活動の充実を図ります。
- ・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検等を実施し、関係各課と連携しながら通学路の安全確保に取り組みます。
- ・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。食に関する指導を推進し、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。
- ・学校給食費については、学校給食費負担軽減等補助金及び学校給食費支援金、食物アレルギー等対応補助金により、子育て世帯への経済的負担軽減策を継続していきます。
- ・布佐中学校区の学校の在り方については、令和5年度に「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」から提出された「提言書」に基づき、施設一体型小中一貫校の設立に向け準備を進めていきます。
- ・小中学生がいる家庭で、経済的理由により就学費用の支払いが困難な保護者に、就学費用の一部を援助していきます。
- ・安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、学校の備品を更新するなど、教育機材などの整備、充実に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、全取り組みを実施しました。
布佐中学校区の学校の在り方検討委員会からの「提言書」に基づき、教育委員会内でどのように進めていくか慎重に検討を行い、総合教育会議で庁内の合意を得ることができました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標に示した取組は、概ね達成できました。
児童の泳力向上及び学校プール施設の維持管理費削減を目的に、11校の小学校の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

水泳指導の民間活用については、児童の泳力向上や費用対効果などが認められたため、全ての小学校に導入できるよう積極的に推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業		
	担当部署名	教育総務部 学校教育課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、 子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	教育機会の均等を図るため、小中学校への就学費用の支払いが困難な家庭を援助します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	121,656	0	令和4年度（年度末時点）	0.80 0.00
令和5年度	決算見込額	103,382	0	令和5年度（年度末時点）	0.80 0.80
令和6年度	当初予算額	120,879	0	令和6年度	4月1日時点 0.80 0.80
	補正後予算額	106,529	0		
	決算額	103,838	0		
	次年度へ繰越			令和6年度	年度末時点 0.80 0.80

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	就学援助認定者数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,186	1,183	1,109	1,063	—	—	—
成果 指標	認定者への支援率	%	目標値				100	100	100	100
			実績値				100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	目標値に近い実績値で活動することができ、経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで子どもの心と体の発達に応じた教育を推進することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は、経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで施策目的に寄与している。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校教育環境の充実
	担当部署名	教育総務部 学校教育課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	- 心身ともに健康な子どもたちを育み、確かな学力の育成を支援する授業の推進や、個に応じたきめ細かな指導のための環境づくりに取り組みます。 - 子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、警察や道路管理者などと連携を図りながら、通学路の安全確保に関する点検や対策に取り組みます。 - 子どもたちの教育環境の充実を最優先に、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、小中学校の適正規模に関する検討を進めます。	
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（小学校の安全管理員制度の見直し）	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 スクールサポート教員の配置事業	指 水泳指導の民間活用
	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業	学校経営アドバイザーの配置
	小学校の安全管理員の配置	
	小中学校管理運営事業	
	小中学校配置職員管理事業	
	小学校備品管理事業	
	中学校備品管理事業	
	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	
	指 布佐中学校区の在り方検討	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	399,391	26,022	令和4年度（年度末時点）		6.00	58.20
令和5年度	決算見込額	380,753	0	令和5年度（年度末時点）		6.30	50.40
令和6年度	当初予算額	500,057	0	令和6年度	4月1日時点	6.30	51.60
	補正後予算額	434,659	0		年度末時点	6.30	55.40
	決算額	411,073	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	学校評価アンケートで、「楽しく学校生活を送っている」と回答した児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	90.0	90.0	89.4	90.0			
成果 指標	小中学校19校の備品管理執行状況	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	88.0	84.0	97.7	98.1			
成果 指標	通学路安全推進会議で出た危険個所の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	89.0	70.0	100.0			
活動 指標	スクールサポート教員の配置数	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	12	12	11	12			
活動 指標	水泳指導の民間委託実施校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	1	3	8	11			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	目標値に近い実績値の成果があり、子どもたちの教育環境や、安全・安心の学校環境の整備に寄与することができた。個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境の提供につながった。通学路の危険個所の改善率については、すべての箇所について対策を完了した。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境を提供するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童・生徒の保健衛生事業	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するため、小中学校における食育及び歯科保健活動の充実を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童・生徒・教職員健康診断事業		
	我孫子市学校保健会運営		
	学校の環境衛生事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	43,109	0	令和4年度（年度末時点）		1.20	0.60
令和5年度	決算見込額	44,326	0	令和5年度（年度末時点）		0.90	0.80
令和6年度	当初予算額	45,668	0	令和6年度	4月1日時点	0.90	0.80
	補正後予算額	44,005	0				
	決算額	41,988	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	健康診断における尿検査の受診人数 （児童生徒 実施人数/在籍者数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99.0	99.0	98.7	98.8			
活動 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査の実施校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19			
活動 指標	小学校歯磨き食育指導を行った小学校	校	目標値	13	13	13	13	13	13	13
			実績値	13	13	13	13			
成果 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査基準値内校/全19校	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	79.0	94.7	73.7			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	目標値を達成またはそれに近い実績値で活動することができ、児童・生徒・教職員の健康保持・増進や学校の環境衛生を適切に保つことで、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	児童・生徒・教職員健康診断事業や学校の環境衛生事業は、法で実施を定められている。また、歯磨き食育指導は子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校給食管理運営事業	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育みます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業		
	学校給食管理運営事業		
	給食施設維持管理		
	学校給食備品管理事業		
	小中学校給食調理業務の民間委託事業		
	指 学校給食費支援金		
	指 学校給食費負担軽減等補助金		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	小中学校給食調理業務委託（6校分） R5～R6年度 166,594千円、学校給食用我孫子産米調達業務委託 R5～R6年度 6,367千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	538,634	0	令和4年度（年度末時点）	9.60 0.60	
令和5年度	決算見込額	692,766	0	令和5年度（年度末時点）	11.20 0.80	
令和6年度	当初予算額	735,035	0	令和6年度	4月1日時点	11.00 1.80
	補正後予算額	774,603	0		年度末時点	12.60 0.80
	決算額	770,418	0			
	次年度へ繰越					

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	週あたりの我孫子産米の使用回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4			
活動 指標	食に関する指導を行っている学校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19			
成果 指標	我孫子産野菜の認知度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	88.1	89.6	89.0	88.7			
成果 指標	我孫子産米の認知度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	87.2	87.7	87.5	87.2			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	どの活動内容も、目標値を達成または目標値に近い実績値で活動することができ、地域に根差した食に対する理解を深めることができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育むため、今後も引き続き実施が必要である。

令和6年度 課の目標管理書

課 名：教育総務部 指導課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○子どもたちに学習指導要領の示す「生きる力」を育むために、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの力を育成する教育を、小中一貫教育の視点を持ちながら推進していきます。

- ・人生を拓く「確かな学力」を育てるために、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を充実させます。
- ・言語活動の充実、体験的活動の充実、道德教育の充実を図り、「豊かな心」の育成、望ましい人間関係の育成を図ります。
- ・全国学力・学習状況調査及び市で実施する学力調査の結果を有効に活用し、実践の検証を行うとともに、指導の評価・改善を継続的にを行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図ります。
- ・「健やかな体」の育成を目指し、教育活動全体を通じた体力の向上および食に関する教育の推進を図ります。
- ・GIGAスクール構想に基づき、ICT教育の一層の推進に努めます。また、情報活用能力を育成し、情報化社会に参画する態度を養います。
- ・子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進するとともに、各学校における学校運営協議会の適正な運用を促進し、地域学校協働活動の充実を図りながら学校と保護者、地域が連携・協働する体制の構築を支援します。
- ・外国語・外国語活動および国際理解教育推進のため、ALT（外国語指導助手）の配置とその効果的な活用に努めます。また、小中学校の円滑な接続ができるように、小学校教員、中学校教員とALT（外国語指導助手）との連携を密にします。
- ・幼保小連携では、子どもたちの育ちと学びをつなげるために「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。
- ・小中一貫教育の推進に努め、各中学校区のグランドデザインを基に、学校と保護者そして地域が互いに協働しながら、それぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開していけるように支援します。また、我孫子市小中一貫教育基本方針に基づいたカリキュラムを全中学校区で計画的に教育課程に組み込み、成果を確かめながら進められるよう支援します。
- ・ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもを育成するため、地域の資源を生かした学習を進めていきます。
- ・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、市としての防止施策の実施及び各学校の防止具体策を支援します。また、いじめ防止対策委員会を年3回開催し、専門的かつ客観的な視点から、市及び学校における課題及びその防止策について検討し、改善に努めます。さらに、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう支援していきます。
- ・Q-U検査（WEBQU）の結果を有効活用し、学級経営を支援します。
- ・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的な配置及び活用に向けた研修会や取組を進めます。
- ・部活動の地域移行については、部活動指導員の配置を進めながら我孫子市の実情等を十分に把握し、適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携し、持続可能な体制を段階的に整備していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事業を着実に推進したことで、概ね目標よりも高い成果を得ることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

いじめ防止対策事業では、いじめ解消率が100%を達成しておらず、さらなる取り組みが必要です。小中学生の利用が増加しているSNSにより些細な事からいじめに発展したりトラブルに巻き込まれたりすることがあるため、家庭におけるスマートフォン等の利用ルールの徹底など保護者の理解と協力を求めています。また、学校がいじめ解消に向けて迅速に対応できるよう連携していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学生非行対策	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－3 防犯対策の推進	
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・学校と連携して小中学生をめぐる現状を把握し、事故や犯罪に巻き込まれないよう啓発及び情報提供をしています。 ・警察と連携し、少年指導員とともに、帰宅指導や交通マナー遵守などの指導を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	少年センター業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,627	0	令和4年度（年度末時点）	0.45 0.20
令和5年度	決算見込額	3,380	0	令和5年度（年度末時点）	0.46 0.20
令和6年度	当初予算額	2,202	0	令和6年度	4月1日時点 0.58 0.20 年度末時点 0.58 0.20
	補正後予算額	2,087	0		
	決算額	1,608	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	定例街頭指導の回数	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	12	15	15	15			
成果 指標	街頭指導における問題行動の認知件数	件	目標値	180	170	160	160	160	160	160
			実績値	202	130	139	335			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	学校と連携し、犯罪等に巻き込まれないよう啓発を行うとともに、不審者情報についても、警察や保護者と迅速に共有を図りました。また、少年指導員による街頭指導を予定通り実施しました。重大な事件や事故がなかったことから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学校や少年指導員と密に連携し、多様化する犯罪等についても学校、少年指導員、保護者と共有していることで、重大な事件や事故が起きていないため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもの育成を図ります。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学校支援事業の充実			
	我孫子市学校運営協議会			
	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進			
	部活動指導員の配置			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	4,523	0	令和4年度（年度末時点）	0.51 5.10
令和5年度	決算見込額	5,040	0	令和5年度（年度末時点）	0.49 8.50
令和6年度	当初予算額	5,653	0	令和6年度 4月1日時点	0.72 8.50
	補正後予算額	5,433	0		
	決算額	5,319	0	令和6年度 年度末時点	0.72 8.50
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の担当者研修会の実施回数	回	目標値	3	5	5	5	5	5	5
			実績値	3	5	5	5			
成果 指標	教育委員会主催の担当者研修会の満足度（参加者アンケート）	%	目標値	80	85	90	90	90	90	90
			実績値	80	90	94	98			
成果 指標	地域人材（学校支援ボランティア）の延べ活動回数	回	目標値	26,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績値	26,362	32,497	37,930	32,608			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての個別事業について、当初の予定通り実施しました。また、コミュニティ・スクールの研修会では、参加者から大変好評であったため、順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業を全く問題なく実施できたため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幼児期教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	育ちと学びの接続を重視し、豊かな人間性や社会性を育むため、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の連携、小中一貫教育を推進します。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	幼保小連携		
	小中一貫教育の推進		
	ふるさとカリキュラムの実施		
	キャリア教育の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	2,682	0	令和4年度（年度末時点）	1.27 0.00
令和5年度	決算見込額	2,638	0	令和5年度（年度末時点）	1.29 0.00
令和6年度	当初予算額	2,770	0	令和6年度 4月1日時点	1.36 0.00
	補正後予算額	2,720	0		
	決算額	2,505	0	令和6年度 年度末時点	1.36 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	幼保小連携地区別会議の実施	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10	10			
活動 指標	小中一貫教育だより「TUNAGU（つなぐ）」の発行数	回	目標値	10	15	15	15	15	15	15
			実績値	10	50	43	42			
成果 指標	幼保小連携・接続の実践、交流回数	回	目標値	45	45	45	45	45	45	45
			実績値	28	53	70	91			
成果 指標	小中一貫教育の周知・理解度 （学校評価アンケートより）	%	目標値		80.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0
			実績値		75.3	80.7	81.7			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	指標「小中一貫教育の周知・理解度」では、目標を達成していないものの、毎年増加しており、全ての個別事業について、当初の予定通り実施したことから順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	事業としては、現状どおり推進していきますが、他の事業も含めた周知を図ったり、コミュニティ・スクールの推進と連携している部分を意識したりすることで、より効果的に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課・教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教職員資質向上推進事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	2,537	0	令和4年度（年度末時点）	1.26 0.00
令和5年度	決算見込額	2,644	0	令和5年度（年度末時点）	1.08 0.00
令和6年度	当初予算額	3,165	0	令和6年度 4月1日時点	1.19 0.00
	補正後予算額	3,125	0		
	決算額	2,587	0	令和6年度 年度末時点	1.19 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の課題別研修会の実施回数	回	目標値	9	9	9	5	5	5	5
			実績値	9	9	9	5			
活動 指標	校内研修会への指導主事派遣回数	回	目標値	150	150	160	80	80	80	90
			実績値	187	90	85	102			
成果 指標	教育委員会主催の課題別研修会の満足度（参加者へのアンケート）	%	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績値	98.2	98.7	99.0	97.8			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	教員向けの研修会では、参加者から高い満足度が得られました。また、小中学校からの指導主事の派遣要請に對し対応することができました。そのため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	教員のニーズや課題等を把握し、研修会の内容を検討しながら引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	いじめ防止対策事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	教職員や少年指導員の研修会などを通して、近年増加しているいじめや生徒指導上の問題についての見識を深め、適切な対応ができるよう支援するとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組、子どもが気軽に相談できる仕組みづくりを進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	いじめ防止対策		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	53	0	令和4年度（年度末時点）		0.35	0.70
令和5年度	決算見込額	39	0	令和5年度（年度末時点）		0.36	0.70
令和6年度	当初予算額	81	0	令和6年度	4月1日時点	0.46	0.70
	補正後予算額	81	0				
	決算額	68	0		年度末時点	0.46	0.70
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	いじめ防止対策委員会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3			
活動 指標	いじめに関するアンケートの実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2			
成果 指標	第2回いじめに関するアンケート結果に対する 取組後のいじめ件数の解消率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	98.8	99.4	97.8	98.0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	いじめの解消率が100%ではないものの、いじめ防止対策委員会での専門家や保護者から意見聴取による適切な対応の検討やいじめアンケートによる実態の把握と追跡調査後も児童生徒の見守りを実施し、いじめの未然防止や解消につながったことから評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	いじめの未然防止と解消率100%に向け、引き続き関係機関や学校と連携して取り組みを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学力向上推進事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちが未知の状況に対応する力や他者と協働して課題を解決する力を育めるよう、子ども達の自主性・自発性を重視した教育を推進します。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学級経営の支援		
	学力向上推進事業		
	学校図書館活用の推進		
	小中学校体育・文化活動事業		
	国際理解教育の推進		
	子ども議会		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	学級経営の支援：WEBQU（学級経営サポートシステム使用 令和5年度～令和8年度 13,740千円）		

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	36,928	0	令和4年度（年度末時点）	2.30 16.81
令和5年度	決算見込額	32,560	0	令和5年度（年度末時点）	1.91 17.31
令和6年度	当初予算額	52,249	0	令和6年度	4月1日時点 1.66 17.31 年度末時点 1.66 17.31
	補正後予算額	47,441	0		
	決算額	46,624	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	標準学力調査の結果分析研修会を実施した小中学校の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
成果 指標	小学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	101	101	102
			実績値	100	100	100	100			
成果 指標	中学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	101	101	102
			実績値	103	102	100	101			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	子ども議会を除く全ての個別事業について、当初の予定通り実施しました。子ども議会については、隔年の実施のため開催しませんでした。中学生と教育委員との懇談会を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き中学校区の状況や特色に応じて校内研修のテーマを設定するなど学力向上を目指したより一層の授業改善を行うよう指導助言していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校 I C T 教育の推進		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	「学習の基盤となる資質・能力」である『情報活用能力』を育成するため、情報教育のカリキュラム作成、教職員の指導力向上、I C T の環境整備と活用に取り組みます。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		小中学校コンピュータ教育の推進		
	指	第2次教育 I C T の推進		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	小中学校コンピュータ教育の推進 （第1次教育 I C T 業務委託 平成31年度～令和7年度 715,350千円）（校務支援システム使用 令和4年度～令和7年度 8,047千円）			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	157,494	0	令和4年度（年度末時点）		0.40	0.80
令和5年度	決算見込額	159,117	0	令和5年度（年度末時点）		1.03	0.80
令和6年度	当初予算額	608,079	0	令和6年度	4月1日時点	0.76	0.80
	補正後予算額	307,303	0				
	決算額	307,143	0		年度末時点	0.76	0.80
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の情報教育に関わる研修会	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	8	8			
成果 指標	学習でのパソコン活用の満足度（児童生徒へのアンケート）	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	94.5	95.2	96.3	96.7			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	情報教育に関わる研修会を充実し、児童生徒の学習でのパソコン活用の満足度も高いことから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	第2次教育 I C T として、令和7年9月から新たな一人一台端末を配布するとともに、協働学習支援、A Iドリル、英語4技能などの学習支援ソフトウェアを導入します。新たな I C T 環境を活用し、「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体的な推進をさらに充実していきます。

令和6年度 課の目標管理書

課 名 : 教育総務部 教育相談センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 教育・発達相談事業を推進します。子どもの健やかな育ちを支えるために、子どもと保護者の相談に適切に対応し、学校をはじめ関係機関と連携していきます。

2. 特別支援教育を推進します。教育支援委員会の適切な運営と就学支援の充実を図ります。教育相談センターアドバイザー事業、巡回事業、教職員研修の実施等を通して児童生徒一人一人の教育的ニーズに対する教育を進めます。特別支援教育コーディネーターの支援については、校内委員会の充実、個別の教育支援計画・指導計画の作成と活用の充実を図れるように支援し、個別支援計画、指導計画の目標達成のために学級支援員の適切な配置も図ります。

3. 切れ目のない支援体制の構築を療育・教育システム連絡会で図ります。

4. 長期欠席児童生徒対策事業の強化をします。教育相談センター及び教育支援センターが、学校と協力し不登校の予防・解消を図れるように支援します。学校においては、校内教育支援センターの増設を図り、多様な学びを確保します。また、児童生徒からの相談を心の教室相談員が適切に受けられるよう相談員のスキルアップを図り、体制を整備します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

教育・相談事業においては、本人や保護者からの相談ニーズを細やかに把握することによって、的確に対応することができました。特別支援教育の推進については、アドバイザー事業や巡回事業を通じて、児童生徒の実態に応じた支援体制の充実を図りました。また、医療的ケア児のガイドライン作成を進めました。長期欠席児童生徒対策事業では、多様な学びの場の確保として校内教育支援センターは重要な役割を担っていることから、小学校5校を増設して指導員を配置する等、体制を整備しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

校内教育支援センターは、令和7年度末までに全校配置を目指し、準備を進めて行きます。また、就学に係る相談や連携の件数が増加していることから、就学支援については、ニーズに応じた相談調整ができるよう改善を図ります。教育・発達相談では、相談者数の増加により、初回の面談まで1ヶ月待ちの状況にあり、人員補充をしていきます。社会科副読本については、プロポーザル方式により作成委託業者を決定し、改訂作業を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自分らしい学校生活を送るための教育支援	
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組めます。	
事務事業の目的 ・概要	・特別な支援を要する児童生徒の就学相談や一人ひとりの状況に応じた特別支援教育の取組を推進します。 ・児童生徒が自分らしい学校生活を送ることができるよう、引き続き、各学校に学級支援員などを配置し、児童生徒、保護者、教職員からの相談を通して支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学級支援員派遣事業		
	教育相談センターアドバイザー事業		
	教育相談・発達相談事業		
	就学相談事業		
	児童・生徒からの悩み相談ホットライン		
	特別支援教育推進事業		
	教育相談センター巡回事業		
	教育支援委員会の運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,571	0	令和4年度（年度末時点）	3.30 50.75
令和5年度	決算見込額	1,599	0	令和5年度（年度末時点）	2.60 49.28
令和6年度	当初予算額	2,492	0	令和6年度	4月1日時点 2.60 41.85 年度末時点 2.60 41.85
	補正後予算額	2,727	0		
	決算額	2,408	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	アドバイザー派遣率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100			
活動 指標	教育・発達相談、就学相談対応件数	件数	目標値		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値		3,475	2,976	4,145			
成果 指標	アドバイザーの支援が役に立った率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	91.0	94.0	91.0			
成果 指標	教育・発達相談継続ケースの利用者の満足度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	94.4	85.3	94.4	100.0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	相談数の増加とともに、相談内容が複雑多様化しています。人員補充が難しい状況が続いていますが、適切に対応できるよう実施体制を工夫することで、ニーズに応じて事業を進め、評価へつなげることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	複雑多様化する相談ニーズに適切かつ迅速に対応するため、人員の補充や研修等による相談の質確保を継続していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課・教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教職員研究論文の作成支援		
	小中学校教師用教科書及び指導書の配付		
	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	3,890	0	令和4年度（年度末時点）	0.80 0.60
令和5年度	決算見込額	5,395	0	令和5年度（年度末時点）	1.00 0.26
令和6年度	当初予算額	68,258	0	令和6年度	4月1日時点 1.00 0.26 年度末時点 1.00 0.26
	補正後予算額	68,258	0		
	決算額	68,095	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	論文作成にあたり指導した回数	回	目標値		6	6	—	—	—	—
			実績値		—	—	—	—	—	—
成果 指標	論文作成指導を受けた満足度	%	目標値		100	100	—	—	—	—
			実績値		—	—	—	—	—	—
活動 指標	社会科副読本の編集会議実施回数	回	目標値		4	4	4	4	4	4
			実績値		4	4	4			
活動 指標	社会科副読本の配布	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値		1	1	1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	社会科副読本の令和8年度改訂に向けて各小学校から1名ずつ担当者を招集し、編集作業を進めました。より児童が学びやすく、郷土愛を育める副読本になるよう案を出し合うとともに、作成委託業者のプロポーザル方式による選定を計画しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会科副読本の令和8年度改訂に向けて、プロポーザル方式により作成委託業者を決定します。各小学校から1名ずつ担当者を招集し、児童の郷土愛を育める副読本及び教師用指導書、デジタル資料等を作成して、令和7年度末に各学校へ配付します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	長期欠席児童生徒対策事業		
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・ 概要	保護者や児童生徒の相談に適切に応じ、悩みを解消することで児童生徒が楽しい学校生活を送れるようにするとともに、不登校の児童生徒もさまざまな学びや経験ができる環境づくりを図ります。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	長欠対策事業		
		教育支援センター（かけはし・ひだまり）の運営		
	指	校内教育支援センター（校内適応指導教室）の設置		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	543	0	令和4年度（年度末時点）	1.10 9.74
令和5年度	決算見込額	703	0	令和5年度（年度末時点）	1.60 19.38
令和6年度	当初予算額	832	0	令和6年度	4月1日時点 1.60 21.13 年度末時点 1.60 21.13
	補正後予算額	846	0		
	決算額	773	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	心の教室相談員兼在宅訪問指導員相談件数	件数	目標値		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
			実績値		5,504	6,003	5,694			
活動 指標	学校連携、児童生徒保護者への対応件数	件数	目標値		300	900	900	900	900	900
			実績値		841	617	973			
成果 指標	不登校率	%	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
			実績値		8.2	5.2	5.5			
成果 指標	教育支援センター（かけはし・ひだまり）に登室している児童生徒の出席率	%	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
			実績値	23.4	31.0	40.0	40.0			
成果 指標	校内教育支援センターに登室している児童生徒の出席率	%	目標値			60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
			実績値			64.7	64.5			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	不登校率は依然として高い数値となっています。小学校5校に校内教育支援センターを増設して指導員を配置し、中学校全6校と小学校8校にて運営しました。教育相談センター及び教育支援センター「かけはし」「ひだまり」と連携しながら、教室に入ることが難しい児童生徒の教育機会を確保しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和7年度4月に校内教育支援センターを小学校に3校に増設し、7年度末までには全校配置を目指します。各小中学校と教育相談センター、教育支援センター及び校内教育支援センターが密に連携を取り、不登校の児童生徒の支援にあたっていきます。